

風俗で気づいた魅力 | キタ風俗バイト「ふうばる」

・風俗で気づいた魅力

いろいろあってソープ嬢になりました。私のこれまでの人生、あまり良いものとはいえませんでした。まず顔にコンプレックスがありました。昔から鏡を見る度ため息をつき、せめて普通の顔になりたいと思う毎日。

でも、こんな私にも唯一ほめられるパーツがありました。それは肌です。色白なのは自分でも分かるんですが、さわり心地もいいらしく、学生時代は友達によくさわられたものです。なので、その点では両親に感謝していました。

しかし第一印象はやっぱりルックス。可愛いと思われたいのには慣れっこなんですが、社会人になると気分が落ちる事がたびたび続きました。もしかしたら、嫌な事があると自分で勝手に顔に結び付けて、ウジウジしてたのが問題なのかもしれません。

そんなこんなでソープ入り。面接では「う～ん」って感じでしたが、色白なのと「スタイルはいいね」とほめられました。スタイルについては、自分でも「せめて体は……」とがんばって摂生していたので、嬉しかったです。

講習も終えていよいよデビュー。私はもちろん顔出し NG で「モデル顔負けのスタイル」「さわり心地バツグンの色白美肌」を持つ風俗初めての新人として売り出されました。

最初のお客さんのご対面時の反応は……。かなり微妙な空気が流れました。私の顔を見てって事は分かってますが。でも、プレイになるとお客さんは私の肌がスゴイとほめてくれました。ボディラインもなでたり眺めたり。

そしていよいよ事におよぼうかというとき、お客さんがまた驚いてひと言。実は、肌以外の生まれながらのチャームポイント、自分では気づかないところにあつたのです。「こんなキレイなマ○コ見た事がない」。恥ずかしながら、それはマ○コでした。

お店も、私に入ったお客さんの感想を聞いているので、今では私のプロフィールに「美マン」が加えられています……。変な気持ちですが、勇気をもらいました。ソープをやっていなかったら、きっとこんなほめ言葉もらえなかったでしょう。頑張って仕事に励みます！